

令和7年度 長崎市立小江原小学校 教育方針及び学校教育目標

教育方針

公教育の本旨に則り、関係法規、長崎県・長崎市それぞれの教育方針、更に第4次長崎市教育振興基本計画に基づき、開校以来49年間、連綿と築き上げられてきた校風を継承し、多様化・情報化・国際化する急激な社会の変化の中にあっても、「心豊かで、自ら学ぶ、小江原っ子の育成～自律し、尊重し合う子どもを育てる～」を根幹に据え、「共生」できる児童の育成に努める。

第4次長崎市教育振興基本計画（長崎市第五次総合計画）

G1長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます

G1-1 「確かな学力」の向上を図ります

G1-3 家庭・学校・地域の連携による教育の充実を図ります

G1-2 健やかな心と体を育成します

G1-4 安全・安心に学べる教育環境を整備します

教育目標

心豊かで、自ら学ぶ、小江原っ子の育成
～自律し、尊重し合う子どもを育てる～

地域の実態
児童・学校の実態
児童の願い
教師や保護者の願い

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
教育関係法令等
学習指導要領
長崎県教育方針
長崎市教育方針等

児童像

学校像(G1-3)

子どもにも地域にも職員にも魅力と活力ある学校

- 子どもが期待を胸に登校し、満足（納得）して下校する学校
- 保護者や地域に信頼され、共に教育活動を展開する学校
- 潤いと安らぎがあり、集うみんなが豊かに心を通わせる学校

学び(G1-1)

ねばり強く
学び合う子ども
【自律】

- 学び方を身につけ、主体的に学ぶ子
- 自ら「問い」をもち、自己決定・選択しながら学ぶ子
- 相手意識と目的意識をもって、思いを正しく伝え合う子

心と体(G1-2)

心と体を
きたえる子ども
【自律】

- 自他の生命の大切さを理解し、思いやりがある子
- 健康であることを心掛け、進んで体を鍛える子
- 目標達成への道筋を決定できる子

寛容(G1-4)

互いに理解し
支え合う子ども
【尊重】

- 自己の特性や個性を理解し、よさを伸ばそうと努める子
- 他者を理解しようと努める子
- 目標に向かって、規律と親和性をもって挑む子

教職員像(G1)

専門職として
鍛え合い、高め合う、質の高い「和」をもつ職員組織

- 【働き方改革】
- 教職の魅力と誇りを感じられる職場を共に創造する職員
 - 教育に対する理念と自覚をもち、子どもに寄り添う職員
 - 授業改善に向けて、研修に努め、共に学び続ける職員
 - 「和を以て貴しとなす」を尊重する職員

自律・尊重 = 共生(G1)

- 進んで挨拶やはき物そろえをし、礼儀や節度がある子
- きまりの意義を理解し、自他のために進んで守り、動ける子
- 道徳的实践力があり、協働できる子

生き抜く力

教育活動の重点【「自律・尊重」の心と態度を育む】

自律・尊重を育てる

- ①規律と親和性のある集団づくり(人権教育・特別支援教育・特別活動)
- ②道徳教育の更なる充実(自己の生き方・ふるさと教育)
- ③生徒指導・教育相談・特別支援教育の充実(道徳教育・特別活動・SEL)
- ④自己指導能力・社会性・表現力の向上(授業改善・特別活動・SEL)

カリキュラム・マネジメント

学びを育てる【自律】

- 【学習者用コンピュータの効果的利活用】
- ①「個別最適な学び・協働的な学び」の実現を目指した授業改善
 - ②読書指導の充実(感と観を広げる)
 - ③家庭学習習慣の工夫と確立

心と体を育てる【自律】

- ①いのちの重みを理解し、思いやりの心を育てる指導の工夫と改善
- ②基本的・健康的な生活習慣の定着
- ③健康教育・安全教育・食育指導の工夫と充実

寛容を育てる【尊重】

- ①自己有用感を育む指導の工夫(感と観を広げる)
- ②学級・学年を越えた活動の工夫と改善
- ③「子どもに委ねる」体験活動の工夫と創造

言葉の力・自己指導能力